

局長級人事異動 知事コメント

(令和2年7月9日)

- 1 これからの4年間は東京にとって、これまでになく重要な期間である。目前には、新型コロナウイルス感染症対策、東京2020大会の成功に向けた取組、デジタル化による新しい成長の実現等、様々な都政の課題が山積している。これらに機動的かつ的確に対応し、構造的な改革ができる体制を構築するため、迅速に必要な人事を行った。
- 2 全庁の要となり首都の防災対策を担う総務局長には、局長として豊富な経験を有する山手政策企画局長を配置し、その後任は、全庁的な視点を有し、高いマネジメント力を有する中嶋水道局長を配置する。水道改革の先頭に立つ水道局長の後任には、初の女性水道局長となる、浜生活文化局長を起用する。
- 3 都財政運営を担う財務局長には、財政分野に精通し、バランス感覚に優れた潮田オリンピック・パラリンピック準備局長を配置した。その後任には、新進気鋭の局長として、困難な課題への突破力を有し、所管事業に精通している同局の中村次長を昇格させる。
- 4 都市整備局長には、都市づくりの推進等に尽力している上野都市整備局技監を昇格させ、建設局長には、都市基盤整備に豊富な知識・経験を有する中島都市整備局理事を登用する。
- 5 現在、空席となっている交通局長には、現場感覚に優れ、強いリーダーシップを有する内藤福祉保健局長を配置し、福祉・保健医療に係る様々な重要課題を抱える福祉保健局長の後任には、実行力に優れ、高い調整力を有する吉村環境局長を配置する。
- 6 新設する福祉保健局健康危機管理担当局長には、現在も新型コロナウイルス感染症対策に尽力している岩瀬オリンピック・パラリンピック準備局次長を登用する。
- 7 その他の局長等には、能力・実績を重視し実力本位の配置を行った。
- 8 今回の新任発令は、7月13日付で実施する。